

# サハリン交流

## 国際交流

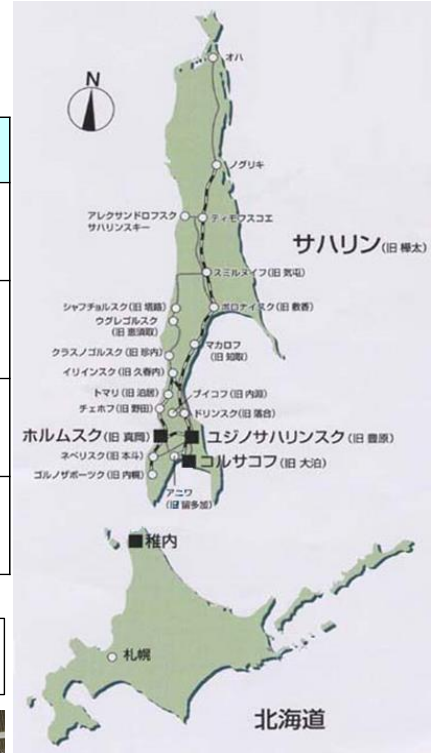
管内では稚内市と猿払村が、サハリン州の3市1村と姉妹友好提携を締結しており、民間団体を含め、これまで文化やスポーツ、観光など友好交流は様々な分野で行われています。

宗谷地域とサハリン州との交流を支えている、稚内港とコルサコフ港を結ぶ国際定期航路は、フェリーの運航会社が平成27年度に撤退しました。平成28年度からは、サハリン州の船舶会社と稚内市の第3セクターとの共同運航で旅客船により運航を継続しました。

### ■ 姉妹友好都市提携状況

ロシア連邦サハリン州との提携

市町村名	提携先(提携年月日)
稚内市	ネベリスク市 (S47.9.8)
	コルサコフ市 (H3.7.2)
	ユジノサハリンスク市 (H13.9.9)
猿払村	オジョールスキイ村 (H2.12.25)



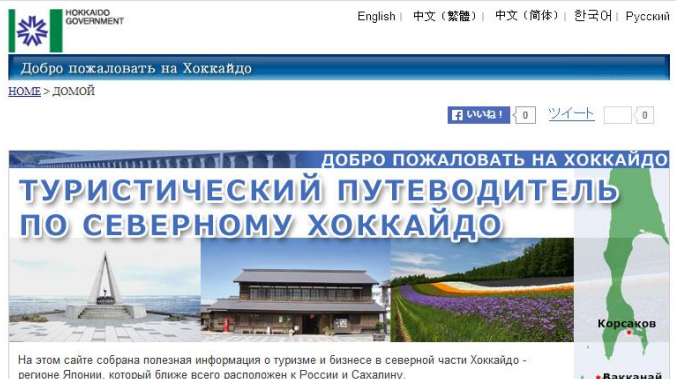
ユジノサハリンスク市で開催された「第2回サハリン北海道フェア」



## 経済交流

石油・天然ガス開発が進むサハリン州は、経済発展が著しく、市民の所得水準も向上しています。これに伴い、高品質な日本製品への関心が高まっており、稚内港からは、貨物船をチャーターし建築資材や自動車部品、食品などを輸出しています。振興局では生鮮品や加工食品、菓子などの輸出の促進に向けて、平成29年度は、ユジノサハリンスク市において開催された「第2回サハリン北海道フェア」(道主催)に参加しました。また、ロシア人向けホームページ及びガイドブックを刷新し、道北3振興局(宗谷・上川・留萌)の観光情報の発信を行っています。

宗谷総合振興局ホームページ サハリン観光情報  
<http://www.souya.pref.hokkaido.lg.jp/ts/tss/index033.html>



## ロシア連邦サハリン州

古くからアイヌの人たちや松前藩を中心に交易が行われ、日本とゆかりの深いサハリン州は、宗谷岬からわずか43kmに位置するサハリン島(南北距離950km)を中心とする州です。面積は北海道とほぼ同じ8.7万km<sup>2</sup>、人口では50万人弱と北海道の約1/10です。

州都のユジノサハリンスク市は、約19万人が住むサハリン州最大の都市で、暮盤の目の道筋で整然とした街並みは、まるで「小札幌」を思わせます。気候は旭川市とほぼ同じで、7月中旬～8月中旬頃までの最高気温は25℃まで上がります。



郷土博物館



ロシア正教会